



ひとをつなぐ、未来につなぐ。

広報

おおつち

Otsuchi

2022.11.5

11

November

No. 707

特集

わたしたち、大槌育ち

「広報の絆 広報の力」×「居・色・自由」とテーマ連動！

特集

わたしたち、 大槌育ち



「大槌育ち」と呼ぶ理由

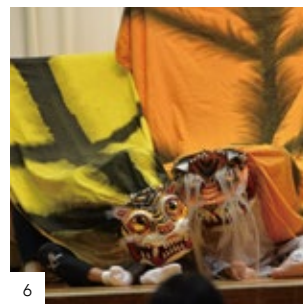
実りの秋。町内でも、田んぼで稲刈りの風景が見られるなど、収穫のシーズンを迎えています。

大槌の豊かな自然に育まれた作物、海や山の幸を見ていると、私たち町民も、同じ町で同じ時間を過ごし、大槌にあるさまざまな物や人、環境の中で「育って」きたのだと気づきます。それは大槌「生まれ」に限らず、移住してきた人や大槌の学校に通っている人、仕事や観光で訪れた人、また今は別の場所で暮らしている人、大槌で過ごしたことがある全ての人の共通点です。

大槌「育ち」の私たちが、何に育てられたのか、何を大切にしているのか。思い出して、考えてみると、それらが大槌の町ならではの良いところであり、私たちが持っているつながりなんだと感じることが出来ます。



12



6



3

CONTENTS

11

広報おおつち

November 2022

No.707

特集 「広報の絆 広報の力」×「居・色・自由」とテーマ運動企画

わたしたち、大槌育ち

広報の絆 広報の力 第5回

大槌育ちの「絆と力」

居・色・自由 第3回 移住定住のページ

わたしたちも、大槌育ち

おおつち NEWS ～町の話～

#おしゃっち 大槌町文化交流センターのページ

すくすく広場 子育て情報のページ

楽笑幸齢者になろう！ おらほの町の地域包括支援センター
防ぎましょう！消費者被害

大槌町教育委員会だより ^{けやき こざえ} 檺の梢から

くらしの安心だより
津波浸水想定とは？ 漏水にご注意ください

おおつちインフォメーション

^{ど お} ^働
おら Do の協 Do ！「おもっせえ」活動を紹介！やっぺし協働！
復興研究会定点観測は「時代を超えた協働」

大槌には 五感を満たす 環境がある

「農家にならないとしても、稲のでき方、鎌の使い方を知っているだけでどこかで選択肢が増えるきっかけになるかもしれない」「すごくかわいいのは、子どもたちが作業後のおやつを『おいしい、おいしい』と夢中で食べるんです。働いた後のご飯が格別美味しく感じることを知っているだけで、どれだけ人生が豊かになるだろうかとしみじみ感じます」。

藤原 市之助 さん



地

昔は生活自体がふるさと科

平成18年、今は閉校となった小鎚小学校の時代から、農業体験の授業を行っている藤原市之助さんは、「自分たちの頃は生活そのものが今のふるさと科と同じだった」と語ります。「農繁休業というものがあり、家の仕事忙しい時、学校は休みだった。子どもの頃から当たり前前に農家の仕事を学んでいた」と藤原さん。今はそういった機会が無い子どもたちに、地域のみんなと一緒に経験を提供してあげたいと話します。

昔自分たちが経験した、生きていくために必要な事を体験しておく事で、子どもたちの生きる選択肢が増える。そのために、この活動を地域で引き継いでいくという藤原さん。体験した子どもたちが大人になっても声をかけてくれ、記憶の中にあるんだなとうれしくなる、と笑顔を見せます。子どもたちはこうした地域や自然の中で、まさに全身で大槌を感じ、成長していきます。



大槌には 学びの機会がある



「唯一無二」を経験する機会
10月6日（木）に行われた、「ふるさと科」の農業体験。大槌学園5年生が、小鎚地区の田んぼで稲刈りを体験しました。子どもたちは、鎌を使って稲を刈り取り、わらで束ねます。最初はなれない手つきでしたがお互いに話し合いながら上達し、みるみるスピードが上がっていききました。作業が終わると児童たちは「楽しかった。もっとやりたい」と話し、「いつも食べているご飯がこうやって作られている事を知って良かった」と目を輝かせていました。

こうした経験に巡り会うことは、子どもたちにとって人生の選択肢を増やすことにつながります。町内の小中一貫教育校で行われている「ふるさと科」では、この他にも海や山を体験したり、防災について学んだり、地域の人を講師にした得がたい学びの場を創っています。

大槌には 人のつながりと 育ての輪がある

「あこがれ」から「誇り」に

大槌高校では、学習成果を発表する大高祭が開かれました。この大高祭で、生徒の有志12人が、先生や他の生徒の前で虎舞を披露しました。生徒たちからの「やってほしい」という声に応え、小さな頃から虎舞に参加していた生徒を中心に、演目なども自分たちで構成し、立派な舞を披露しました。とても楽しかったと話す佐々木大地さんは「じいちゃんが虎のかしらを作っていて、小さい頃からかっこいいと思っていました。所

属する団体の会長のように、色んな役割を全てこなせるようにもつと練習したい」と夢を持ちます。

前川陽斗さんは今年から虎舞を始めましたが「人と人との距離感が近いこの町の感覚が好きで、人に壁を作らない性格になった。郷土芸能や周りの人のおかげ」と話します。

中村瑚雪さんは虎舞の人たちをみんな家族のようだと話し、「虎舞をやって、色んな人がいることを知ったし、それが自分の視野を広げてくれた」と感謝します。

中村麗天さんは「父が会長をやっていますが、その姿を見続けていて、前はただ怒られていると思っていましたが、今では、相手のことを思っ

て厳しい言葉をかけていることが分かった」と尊敬の気持ちを語ってくれました。

人との関わりから新たな道へ

大槌高校では、自分で課題を持ち、地域の人などと関わりながら探究していく「マイプロジェクト」という活動を行っています。この活動をきっかけに、自身がやりたいことを見つけ、進路を決めて大学へと進学した卒業生がいます。

君島真叶さんは、釜石東中学校から大槌高校へ進学。現在は、宮城大学で地域創生学について学んでいます。マイプロジェクトの1期生でもある君島さんは、もともとプログラミングなどに興味があり、マイプロジェクトではWEBサイトで部活動のページを作ることに取り組んでいました。しかし、他のマイプロジェクトの取り組みを見て、自分も地域のために何かできることがないと考えるようになり、コミュニティづくりに興味を持ち現在の進路へと進みました。

君島 真叶 さん (20)
まなと



つとも糧となっていることは、地域に対する恐怖感が無くなったことだと話す君島さん。「地域活動に参加し

たり、地域の人が自分の話を聞いて

ここよく答えてくれたりする経験

の中でも、怖がらずにぶつかって

いてもいいんだと思えるようになった

と分析し、今の大学での活動にも

ても役立っているといいます。

高校3年生の時は、学年をまた

いでそれぞれのマイプロジェクトを

なげ、より大きな効果を発揮する

ための取り組みを行っていた君島

さんは「地域コミュニティを作るた

めに、住民一人一人がマイプロ

ジェクトをやるのがいい」と語ります。「何

かを解決したいと思う人たちが何

かいて、その人たちをつなげるこ

とで、コミュニティというまとまり

が自然とできる」と考えています。

そのために、現在でも大槌に帰

ってきて、コラボスクールでイベ

ントを行い、マイプロジェクトについて



大学で地域に入り、企画したイベントでは1,000人を動員



中村 麗天 さん 中村 瑚雪 さん 前川 陽斗 さん 佐々木 大地 さん



ていきました。たくさんの生徒たちの前で、誇らしげに舞う虎は、同じ年齢の若者たちの心に響き、会場全体を感動させました。



話を聞くこと、伝えること コミュニケーションの大切さ

二戸市 会計課

近藤 歩美 さん (旧姓：大森)
こんどう あゆみ

平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで、
二戸市から大槌町福祉課へ派遣。
派遣期間終了後、平成 28 年 4 月から平成
31 年 3 月まで、二戸市広報担当を務める。

地元職員や派遣職員など、さまざまな人たちと仕事をする中で、コミュニケーションの大切さを感じました。話を聞くこと、伝えること、基本的なことではあるけれど、それがすごく大事でした。この経験は、広報の仕事をするときに、丁寧に話を聞き、思いがきちんと伝わるように記事を書くことを大切にしたいという思いにつながりました。

派遣期間中に二戸市の広報に載ったこともあり、戻った時には市民から声をかけていただき、ねぎらいと被災地の現状を心配する言葉を多くいただきました。あらためて、被災地に心を寄せている人は多いのだと感じました。案外、広報はよく見られていることも知りました (笑)

広報担当になってから、震災から 5 年以上が経過し、風化してきているのではと思い、継続して被災地支援をしている市内団体の活動を紹介しました。

大槌での全ての経験が糧になっていますが、たくさんの人とのつながりが持てたことが何より大きな糧になっていると思います。



八木澤 弓美子 さん
やぎさわ ゆみこ

私たちがつらい時、優しい言葉で包んでくれた歩美さん。被災地支援の記事から、優しさが伝わってきます。今でもとても感謝しています。

広報にのへ
No.263 は
こちらから



「広報の絆」 第 5 回 広報の力

広報にのへ No.263 2016 年 12 月号
広報遠野 No.208 2022 年 10 月号

東日本大震災津波からの復興期間に派遣職員として大槌に来てくれた皆さんも、「大槌育ち」の仲間です。大槌での派遣期間を経て、派遣元に帰ってから広報担当職員を経験した二戸市と遠野市の 2 人に、大槌育ちの「広報の力」について語ってもらいました。

大槌育ちの「絆と力」



佐野 薫 さん 佐々木 秀季 さん
さの かおる ささき ひでき

「コンコン」と口でノックして入ってきた北田さん。ユーモアあふれる取材風景が目につかびます。広報が読めて嬉しいです。

大槌を愛する人たちに触れ、 遠野を愛する気持ちを再認識

遠野市 総務企画部 経営企画課

北田 歩 さん
きただ あゆむ

令和 2 年 4 月から令和 4 年 3 月まで、遠野市から大槌町に派遣。コミュニティ総合支援室、協働地域づくり推進課に勤務。令和 4 年 4 月から、遠野市広報担当。



広報遠野
No.208 は
こちらから



私が勤務した部署では、コミュニティ支援や、交流センターの管理などを行っていて、特に町民の皆さんと触れ合う機会が多かったと思います。その中で、大槌の人たちが自分の町を好きで住んでいることを強く感じました。そんな大槌人に感化され、帰ってから遠野市の良いところがたくさん見えて、広報担当として大きな力になっています。自分が取材した人が、町で声をかけられたと聞くと嬉しいです。

今は、遠野出身者だけでなく、移住や転勤などで遠野市にいる人たちをもっと紹介していきたいと考えています。自分が大槌町で仕事をした時、本当にこの町のために頑張りたいという気持ちだった事を思い出し、そんな人たちの気持ちを住民に知ってもらい、強いつながりを作っていってほしいと思います。

「大槌育ち」の魅力は、あなたのの中に
大槌には、学びの機会、五感を満たす環境、人のつながりと育ての輪があり、この、時、場所、人の三つが、大槌で過ごす人の成長の力となっています。
「大槌育ち」の養分は、イコール町の魅力といえるでしょう。その中には、昔からの大槌の環境の中で生活や文化として育まれ、多くの人々がつないできたものもたくさんあります。今、大槌町で過ごしている全ての人々が、今日、この瞬間も大槌育ちの養分を受け取り、また、誰かに渡しています。
「大槌育ち」の仲間の絆を感じながら、その誇りを次の時代へと繋いでいくためにも、自分が大切に感じるものをあらためて思い出してみませんか。大槌ならではの魅力は、すでにあなたのの中で育っています。

わたしたち、大槌育ち

移住定住 WEB サイト 「ココカラオオツチ」 ほか SNS で情報発信



▶ WEB サイト

大槌町の暮らしについて紹介しているほか、空き物件情報や地おこ募集の情報なども掲載



▶ インスタグラム



▶ ツイッター



▶ フェイスブック



▶ ライン



ぜひ活用して大槌の「居・色・自由」を楽しみましょう！

(株) ソーシャルネイチャーワークス

くどう ひでか
工藤 秀佳 さん

札幌市出身。リフォーム会社の埼玉県内の営業所に勤務した後、大槌町地域おこし協力隊1期生として着任。「害獣」を「まちの財産」に。を掲げる大槌ジビエソーシャルプロジェクトの一員として、ハンター育成事業などに取り組む。自分で獲った鹿や仲間とつくる野菜をさまざまな調理方法で料理するのが日々の楽しみ。



第3回

わたしたちも、大槌育ち

捕獲した鹿の命を価値あるものに変え、新たな人の流れを創り出す「大槌ジビエソーシャルプロジェクト」の一員として活動する地域おこし協力隊の工藤秀佳さんは、首都圏での2年間の会社員経験を経て、大槌へ移住しました。「地方に暮らすことの良さは、生き方の決定権が自分にあること」と実感を語ります。

移住した工藤さんは、まさに今、私たちと同じ町で「大槌育ち」の時間を過ごしています。

ちおこ活動と狩猟に 充実感を感じる毎日

大学時代には畜産を学び、食や肉に興味があった工藤さんは、大槌ジビエソーシャルプロジェクトに強い興味を覚えました。同プロジェクトは、大槌町で農林業の鹿の被害が深刻化する中、被害対策として捕獲した鹿の肉を全国流通させ、鹿肉や革製品、狩猟などを体験するプログラムを通して、大槌を知りつなぐを持ってもらおうというものでした。「まだ使えるものを壊して処分する仕事に違和感を感じていたからこそ、それまでは捕獲して捨てていた鹿を

活用するという取り組みに魅力を感じました」と振り返ります。

工藤さんの職場は、鹿肉のプロモーションや「大槌ジビエツーリズム」「岩手ハンター育成プロジェクト」の企画・運営などを担うソーシャルネイチャーワークス。工藤さんは、地域の農林業を守る若手ハンターを増やすプロジェクト、さらに鹿の被害に悩む農家と連携して罠を設置し捕獲する取り組みの立ち上げから実行までを任せられました。「自分のような若手でも責任ある仕事を任せられ、会社のビジョン策定にもかかわることが出来るのは、小さな町の小さな会社だからこそ」と充実感を感じてい

ます。

大槌に来て約半年後には狩猟免許を取得し、猟銃を購入。自らもハンターとしてデビューを果たしました。「実は最初は猟銃を持つことに迷いがあって、ぎりぎりまで悩んだんです」と明かす工藤さん。全国の女性ハンターと知り合い、男性のベテランハンターたちに引けを取らず、協力して獲物を獲り、解体、料理までこなす彼女たちの姿に背中を押され、猟に出ることを決めました。

11月に猟期が始まり、初めて獲ったのはヤマドリ。猟期内に目標としていた鹿も仕留めることができ、「自分で獲ったからこそ、何歳なのか、雄か雌かも分かるし、愛着が湧く。毎回、これはどうやって料理しようと考えながら大事に持って帰ります」と語ります。

地域の中で 自分の名前で生きていく

狩猟だけでなく、自分が食べるも

のを自分で確保できる暮らし方を理想としている工藤さん。地域おこし協力隊の仲間とともに耕作放棄地を耕して野菜を作ったり、海釣りや溪流釣り、山菜採りを楽しんだり。

自然と関わり、大槌、そして岩手で多様な人たちと関わる中で工藤さんが感じることは、それは「都会の人は勤めている会社の名刺を持って生きていくけれど、地方には務め先だけでなくいくつもの役割を持って個人の名前で生きている人がたくさんいる」ということ。仕事をしながら、町内会、PTA、消防団、猟友会、地域の祭りやサークル活動など、さまざまな顔を持ち、地域の中で暮らしている人たちの姿が工藤さんの地域での生き方のモデルです。「自分のやることに自分で責任を負って、生きたいように生きられること、これから何者にでもなれるんだと思うこと、それが地域で生きていくことのおもしろさだと思います」。

〇おしやつちラジオ体操

毎朝 9:00 開催！
※休館日（火曜日）を除く
寒い時期こそ身体を動かして代謝をあげよう！

■坐禅会&写経 11月13日(日) 年内最後！

時 間 坐禅 9:00 / 写経 10:00
場 所 レッスン室 ★要予約（定員 10 名）
参加費 500 円 協 力 大勝院

□初心者向けスマートフォン教室 11月16日(水)

時 間 13:30 ~ 15:30 場 所 会議室②③
ご自身のスマホやタブレットをお持ちください

●すけっと隊 11月20日(日)

月に1度のボランティア活動！ ※雨天中止・小雨決行
時 間 9:30 あるけあるけクリーン活動&花壇草取り（予定）

◆英語でダンス♪～Dance Class in English～ 11月26日(土)

身体を動かしながら、楽しく英語に触れよう！
幼児クラス 11:00 ~ 11:20 小学生～大人クラス 13:00 ~ 13:30

★12月 おしやつち子どもデー

日 時 12月4日(日) 10:00 ~ 15:00
《イベント内容》 キッズフリマ・駄菓子屋さん・クラフト作り・子ども食堂・子ども向けショー・本の貸出体験・クイズ・闘球盤あそびなど盛り沢山！ ※キッズスペースあり

イベント当日は図書館内で音が出るイベントや会話ができる環境となります。日常的に図書館をご利用している皆さんにはご不便をおかけしますが「年に一度の子ども達へのクリスマスプレゼント企画」としてご理解とご協力をお願いします。

★星空観望会

日 時 12月10日(土) 星空観望 18:30 / 19:00
場 所 3階図書館

おしやつち写真館

「イベント詳細・申込・問い合わせ」

イベントの詳細は、館内掲示チラシとSNSをご覧ください。お電話・または公式LINEからお願いします！
電話：0193-27-5181



おしやつちとコスモスの2ショットです！
Photo by
おしやつち大好き
地域おこし協力隊
のKくん

9月の第2回パンマルシェ！
今回は12/18(日)
10:00 ~ 13:30
お楽しみに★

※新型コロナウイルス感染状況によっては、変更・中止になる場合があります。
※イベント日程が変更になる場合はおしやつちSNSまたは館内掲示でお知らせします。

☎ 大槌町文化交流センター Tel 0193-27-5181

図書館
event

図書館ミニ企画コーナー 「私の本棚」

11月14日(月) ~ 11月28日(月)

本棚を見るとその人の性格や思考が分かれるといわれています。

著名人やインフルエンサー、そして図書館職員が選書し、本棚をイメージした箱に展示します。人の心を動かした本とはどんなものなのか。冬の夜長のお供に手に取ってみてください。



図書館
event

読み聞かせ会

11月12日(土) 11:00 ~

【場所】3階ミーティングルーム
【協力】大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

休館日のご案内 毎週火曜日、第3木曜日(11/17)

※新型コロナウイルスの影響により、各種イベントが中止になる可能性があります。図書館のフェイスブックなどでお知らせします。

☎ 図書館 Tel 0193-42-7226

お お つ ち NEWS

OTSUCHI NEWS



10月9日

伝統の地区運動会が復活 恒例の競技の数々を懐かしむ声

10月9日(日)、安渡地区の運動会が12年ぶりに開催されました。東日本大震災以前には地区を上げて行われていた恒例の行事。今回で通算49回目となる運動会は、安渡町内会が復活させ、住民に参加を呼びかけました。当日は子どもからお年寄りまで約250人が参加。地区出身者に限らず、地域おこし協力隊や外国人技能実習生なども競技を楽しみました。震災前から行われていた競技「お掃除上手」では、選手たちがボールをほうきで掃きながら必死に駆け回り、会場は声援と大きな笑い声に包まれていました。



10月15日

大槌高校生が学習や探究の成果を発表 ~大高祭を開催~

10月15日(土)、大槌高校にて令和4年度大高祭が開かれ、保護者や近隣の中学生らを対象に公開されました。校内では学年ごとにお化け屋敷や縁日、e-スポーツやボードゲームの体験などが催されたほか、探究活動や研究会の成果発表の展示、吹奏楽のコンサートなど、多彩な内容で来場者を楽しませました。生徒たちは、訪れた中学生らを案内したり、自分たちでお互いの展示やイベントを楽しんだりして、大高祭を盛り上げました。



10月16日

町内の事業者が一堂に おおつち産業まつりに来場者多数

町内の事業者や団体が、それぞれの事業や特産品などのブースを出展する「おおつち産業まつり」が10月16日(日)、海づくり記念公園で開かれました。会場では、他県との鹿肉食べ比べや、海産物や野菜の販売など、33団体が飲食や販売、体験コーナーを出展し、町内外からの多くの来場者でにぎわいました。体験コーナーでサーモンを釣り上げた関谷蒼羽さん(吉里吉里学園2年:左写真)は「前にもやったことがあり楽しみにしていた。今日の晩ごはんで食べたい」と笑顔で話していました。

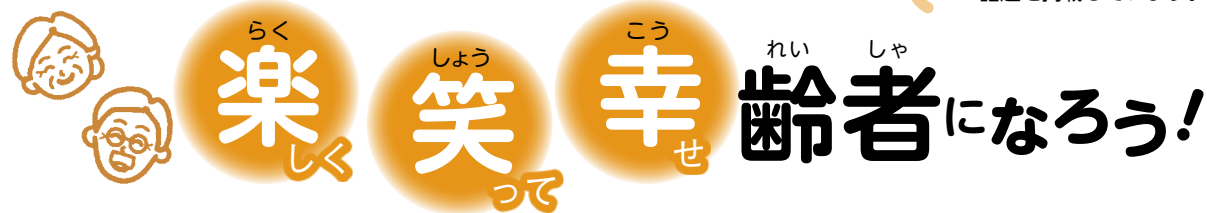


10月17日

県内初 宿泊施設との災害協定 ～三陸花ホテルはまぎくと締結～

10月17日(月)、町は三陸花ホテルはまぎと「災害時における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結しました。この協定は、風水害などで長期間の避難生活が必要な場合、高齢者や基礎疾患のある人など、配慮が必要な人の避難場所として同施設の客室や大浴場などを提供してもらうというもので、自治体と民間宿泊施設がこのような協定を結ぶのは県内で初めてです。千代川社長はあいさつで「災害対応の力になりたい。安全、防災に対して誠心誠意協力していきたい」と力強く語りました。





認知症のお悩み、ご相談ください

認知症になったとき、認知症の人や家族が1人で悩みや不安を抱え込んでしまう事が多いと言われています。地域包括支援センターは高齢者の相談に対応する窓口です。また、認知症の人とその家族を支援する様々な制度があります。1人で悩まず、一緒に考えてみませんか？ ぜひご相談ください。



おおつち見守りSOS ネット

道に迷う（行方不明になる）恐れがある高齢者の情報を、役場・釜石警察署（大槌交番）・大槌消防署で共有して日頃の見守りにつなげるものです。また、行方不明時には速やかに情報共有をして、早期発見・保護につなげる事を目的としています。

登録申請時には、氏名や特徴、旧姓、写真などが必要で、1年に1回登録情報の見直しを行っています。

「どこシル伝言板」

SOS ネット登録者でどこシル伝言板の利用に同意した人を対象に、QRコードを読み取るだけで事前に登録した緊急連絡先へメールが届く仕組みで、早期保護を目的としています。

登録申請時には、本人のニックネーム、既往症、保護時に注意すべきことなどが必要で、SOS ネットと同様、1年に1回登録情報の見直しを行っています。

「認知症サポーター」の輪が広がっています！

町は、認知症サポーター養成講座を開催しています。

認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族を温かく見守る応援者（サポーター）の事を言います。

養成講座を受講した皆さんには、サポーターの証である「オレンジリング」を渡して、地域に住む高齢者を気かけたり、あいさつをしたり、できる範囲での活動をお願いしています。

開催講座の希望がある場合は、ご相談ください。

今年度、大槌学園・吉里吉里学園4年を対象に開催した養成講座の様子をご紹介します。



寸劇の様子



大槌学園4年生



吉里吉里学園小学部4年生

【お問い合わせ】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

サロンおでんせ

誰でも気軽に集える居場所「サロンおでんせ」を開催しています。

日程	内容	おしゃっち会場
第2週 11月10日(木)	壁面制作・個別制作	多目的ホール
第3週 11月17日(木)	運動・レクリエーション	多目的ホール
第4週 11月24日(木)	カレンダー制作	多目的ホール

※第1週は祝日のためお休み
※新型コロナウイルス感染拡大などにより中止する場合は施設掲示などでお知らせします。

【時間】10:00～11:30（出入り自由、申込不要）

【費用】100円～（制作費、茶菓代など。制作内容により変更あり）

健康福祉課 TEL 0193-42-8716

すくすく広場

健診・相談

11月の乳幼児相談・健診は下記のとおりです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため対策を講じながら、面談でお子様の成長確認をします。対象者には個別に通知します。

■場所 大槌町保健センター すこやかテラス

■持ち物 母子健康手帳、体調確認シート、アンケートなど

実施日	健診・相談	対象児
11月8日(火)	2歳6か月児相談	令和2年4月生まれ 令和2年5月生まれ
11月14日(月)	午前 4か月児相談	令和4年7月生まれ
	午後 7か月児相談	令和4年4月生まれ
11月25日(金)	3歳児健康診査	平成31年3月生まれ 平成31年4月生まれ

健康福祉課 TEL 0193-42-8716

すこやか育児相談

お子さんの成長で気になっている事（離乳が進まない、体重が増えない・増え過ぎている、落ち着きがない など）について、個別相談（予約制）を実施します。

※予約状況により、日程を調整する場合があります。

■日時 11月17日(木)

① 9:00～ ② 10:00～ ③ 11:00～
午後の対象者には個別に通知します。

■予約締切 11月16日(水)

■場所 大槌町保健センター すこやかテラス

■持ち物 母子健康手帳

健康福祉課 TEL 0193-42-8716

産前産後サポート事業 大槌まんまるサロン

助産師、子育て経験のあるママスタッフが子育てに関するちょっとした疑問・質問を一緒に解決。

出産前・出産後の体調の変化やおっぱいのケア方法について助産師さんに相談できる機会です。

■日時 ※予約制（定員になり次第締め切り）

11月24日(木) 午前 10:00～12:00(※10組)
午後① 14:00～14:45(※1組)
午後② 15:00～15:45(※1組)

■場所 大槌町保健センター すこやかテラス

■対象 大槌町に住んでいる以下の人

①現在、妊娠中の人
②概ね1歳までのお子さんを育てる母親とその家族

■内容【午前の部】・ママ同士の交流

・お子さんの体重測定、母乳についての相談

【午後の部】・個別の相談

■予約 電話およびメール 11月22日(火) 16:00まで

☎ NPO法人まんまるママいわて TEL 090-2981-1135

メール: info@manmaru.org

11月8日は「いい歯の日」

「いい歯の日」は「8020運動」の一環として制定されました。「8020運動」は、生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標にした運動です。

30歳以上の約7割は、歯肉（歯茎）に所見があるとされ、年齢が上がるにつれて割合が増加します。

歯肉の炎症である歯周病は、全身の健康に影響を与え、糖尿病や認知症、動脈硬化等の病気の原因にもなります。

「いい歯の日」をきっかけに、かかりつけ歯科医を持って定期的に受診し、ご家庭での口腔ケアを行うことで、健康な歯を維持しましょう。

子育て支援事業のお知らせ

下記の事業所では、未就園児、未就学児、保護者のための様々な子育て支援事業を企画しています。内容や日時などの詳細は、QRコードから情報ページをご覧ください。

■事業所 ・大槌町地域子育て支援センター「かりん」
・つつみ子育て支援センター「てくてく」
・おさなご幼稚園子育て支援事業「カンガルークラブ」
・認定こども園 みどり幼稚園

■内容 ・園庭の開放 ・親子参加型企画
・パパ、ママのための企画 など



すくすく赤ちゃん

このコーナーでは、町内の1歳前後の赤ちゃんを紹介しています。



いわま ちかり 岩間 千栞里 ちゃん

令和3年10月31日生
歌と踊りが大好き♪ 現在、食事の練習を頑張っています。
(家族代表者名: 岩間正徳)



櫓の梢から



これからも地域で子どもたちが スポーツ・文化芸術活動に取り組めるように ～部活動の地域移行に向けた取り組みが始まっています～

全国的に少子化の進展で学校単位での部活動運営が困難になる中、公立中学校の部活動を地域団体や民間事業者に委ねる「地域移行」に向けた取り組みが始まっています。スポーツ庁と文化庁は、2023～2025年度の3年間で「改革集中期間」に設定し、25年度末までに休日の部活動指導を地域に移行する改革を提言しています。これを受けて、町は今年度から、スポーツおよび文化芸術団体などの代表者、部活動指導者、保護者および学園関係者からなる「町部活動検討委員会」を立ち上げ、部活動の地域移行の可能性や具体的な姿について、様々な意見を出し合いながら検討しています。



町民の皆さんからのアイデア・提案を募集しています！

部活動の地域移行に向けた取り組みはまだ始まったばかりで、今後、町民の皆さんからも、実現に向けたアイデアや提案を広く募りながら、可能性や具体的な姿を探っていきたくと考えています。アイデア・提案をお持ちの人や、取り組みにご協力いただけるスポーツおよび文化芸術（郷土芸能などを含む）団体などの関係者の皆さんは、右記 QR コードをご参照いただくか、教育委員会学務課までご連絡ください。



学務課 TEL 0193-42-6100

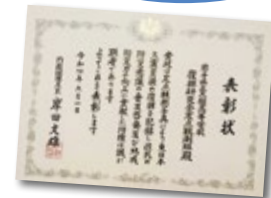
大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校のnoteでも
行事などの様子を
発信しています！

祝！復興研究会「定点観測班」 防災功労者内閣総理大臣表彰受賞！



本校の復興研究会「定点観測班」が、2022年の防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。この表彰は、日ごろから防災思想の普及や防災体制の整備に尽力、または災害時における防災活動に顕著な功績のあった個人・団体に対して行われるもので、震災後から継続して町並みの変化を記録してきた「定点観測」の活動が評価されました。

表彰式は9月13日（火）に総理大臣官邸で行われ、校長が代表して参加しました。9月16日（金）には、校長と復興研究会の顧問、代表生徒が大槌町庁舎を訪問し、町長に受賞を報告しました。これまでの活動を支えてくださった多くの皆さんに感謝し、今後の活動も精力的に行っていきます。今回は、復興研究会の活動と、活動に参加する生徒の声を紹介します！



復興研究会は こんな活動をしています！

1. 定点観測班

2013年から継続して行っている活動で、年3回、大槌町内の180箇所のポイントから写真を撮影し、変わりゆく町並みを記録しています。



2. キッズステーション班

避難所運営時に行っていた子どもたちとのふれ合い活動を継続しています。現在は年2回、夏休みと冬休みに町内の児童関連施設の子どもたちと交流しています。



3. 他校交流班

県内外問わず毎年多くの高校に来校いただき、交流活動を通して復興の取り組みを伝えています。今年度は6月に釜石高校と交流しました。



4. 広報班

復興研究会の活動の様子をまとめた「復興研究会だより」を定期的に作成し、校内にて展示しています。今年度は、これまでに2回発行しました。



大高生にインタビュー

復興研究会に所属し、定点観測の活動に積極的に参加している2年生の山崎成美さん（やまざきなるみ）に、復興研究会の活動に参加する理由や、得た学びについて、語ってもらいました！



Q. 定点観測の活動に参加しようと思った理由を教えてください。

中学生の時に参加した「全国防災ジュニアリーダー育成合宿」をきっかけに防災に興味を持ち、高校でも防災に関する活動を頑張りたいと思っていました。定点観測は、復興研究会の中でも、震災や防災のことを一番深く考えられる活動だと思い、1年生の頃から毎回参加しています。

Q. 実際に参加する中で考えたことや感じたことを教えてください。

定点観測で撮影した写真が残ることは、震災の記憶の風化防止に役立つと考えています。東日本大震災の記憶があるのは私たちの世代が最後で、今後は震災の経験がない人が増えていきます。私自身も、先輩たちが撮影してきた写真があるお陰で、震災後に建物が何も無くなってしまった様子や、復興の過程を知ることができ、防災意識を高めることにつながっています。現在私たちが撮影している写真も、将来これを見る人たちの役に立つことを信じて活動を続けていきたいと思っています。

Q. 今後の目標を教えてください。

私は、マイプロジェクトの活動も防災をテーマにして行っており、現在は、「避難したくてもできない状況にある人を、どのようにサポートするのか？」という問いについて考えています。定点観測を通して得た学びやできた繋がりを活かして、地域の人たちに貢献できるような解を見つけたいと思います。



■夜間窓口の開設

11月～12月の第2、第4火曜日

開催月	開催日	受付時間
11月	8日・22日	17:15～19:15
12月	13日・27日	

■休日窓口の開設

11月～12月の第2日曜日

開催月	開催日	受付時間
11月	13日	9:00～16:30
12月	11日	

マイナポイントを受け取るために必要な**マイナンバーカード**の申請期限が、**12月末まで延長**されました。この機会に**早めの申請**をおすすめします。

■マイナンバーカードの手続きに必要なもの

手 続 き	準備するもの
マイナンバーカード申請	国から送付されている申請書（お手元がない場合は役場で再発行できます）、免許証または保険証と診察券などの身分証明書
マイナンバーカード受け取り	交付通知ハガキ、免許証または保険証と診察券などの身分証明書、個人番号通知カード
マイナポイント申請支援	マイナンバーカード、ポイントをつけるプリペイドカード等、口座登録する場合は通帳かキャッシュカード

※写真撮影や照合、暗証番号の入力があるため、**必ず本人が来庁**してください
（平日の日中、夜間、休日ともに手続きの内容は同じです）

※予約は必要ありませんが、手続きには時間がかかります。**時間に余裕を持って**来庁してください

☎ 総務課 Tel.0193-42-8710 ☎ 町民課 Tel.0193-42-8713

に開設します。

大槌町役場1階 町民課

平日の日中にマイナンバーカードの申請や受け取りが難しい人を対象に、11月から12月まで、夜間・休日窓口を



マイナンバーカード申請などの
夜間・休日窓口を開設します

くらしの安心だより

防災ハザードマップを解説

津波浸水想定とは??

防災ハザードマップに記載されている「津波浸水想定」は、令和4年3月に県が公表した“最大クラスの津波”が“悪条件下”で発生した場合を想定して設定したものです。

《最大クラスの津波とは》

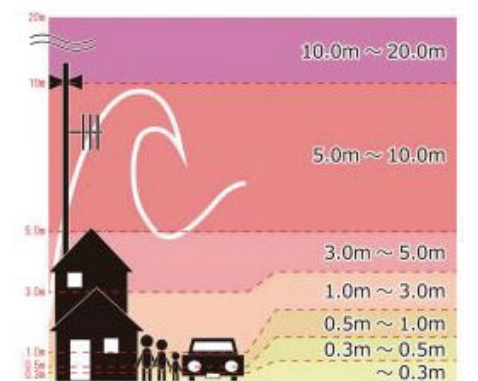
若手県の沿岸地域に大きな被害をもたらす津波のことで、**過去に実際にあった津波や今後発生することが想定される津波**を指します。

《想定される悪条件とは》

- ・地震による「広域地盤沈下」が発生
- ・朔望平均満潮位（東日本大震災津波発生時より約1m高い潮位）
- ・津波が防潮堤や水門などの構造物を超えた時点で防潮堤や水門などが破壊される

詳しくは、県ホームページ「最大クラスの津波浸水想定」をご確認ください。

津波浸水想定区域（基準水位）



11月の防災ハザードマップ説明会の日程

11月開催の防災ハザードマップ説明会の日程は下表のとおりです。

なお、災害発生時など急に予定を変更する場合は町ホームページなどでお知らせします。

日 時	会 場	対象地区
11月 8日(火) 19時	赤 浜 分 館	赤浜地区
11月 13日(日) 10時	花 輪 田 地 区 集 会 所	花輪田地区
11月 13日(日) 18時	おしゃっち(多目的ホール)	全地区 ※日程が合わず説明会に参加できなかった人を対象に、地区を限定しない形式で開催します。
11月 19日(土) 19時	小 鎚 地 区 多 目 的 集 会 所	小鎚地区

漏水にご注意ください

宅地内の水道管（給水管）から漏水している場合、水道料金が大きく上がってしまうばかりでなく、漏水箇所によっては住宅にも影響を及ぼす恐れがあります。

宅地内の水道管（給水管）は使用者の財産です。適切に維持管理し、漏水に注意してください。

漏水の兆候

- ・使用水量が、前月に比べ著しく増えていたり、直近の数か月で徐々に増えていたりしている
- ・配管や蛇口から「シューシュー」というような異音が聞こえてくる

漏水の確認方法

- ①宅地内の蛇口を全部閉める
- ②水道メーターの「パイロット」と呼ばれる銀色の円形のものが回転しているかどうかを確認する
※パイロットが回転していれば漏水している可能性があります



漏水を発見したら

町上下水道課へ連絡した後、町の指定給水装置工事業者に連絡し、早急に確認、修理を依頼してください。

※指定給水装置工事業者は町ホームページに掲載しています。

※修理費用は使用者の負担となります。

☎ 上下水道課 Tel.0193-42-8719

園児募集

願書配布および受付は11月1日(火)から各園で始まります

幼児教育・保育の無償化制度により、保護者負担のうち保育料、副食費（おかず代など）は無料となっております。認定こども園（幼稚園部分）、幼稚園は親の就労形態に関係なく入園できます。また、保育の必要性の認定を受ければ、預かり保育の利用料も一定額が無料です。詳しくは、各園にお問い合わせください。

幼保連携型認定こども園 おおつちこども園 **Tel 42-2136**

「こどもたちがど真ん中!」～感謝・感動・感心・共感～

★さらなるワクワク感へ導こう!《やってみよう!おもしろい!なんだこりゃ!》

★あそびは学び!幼児期はこれに限る!広～い園庭で思いきり遊ぼう!!

★みんなで食べるっておいしいね!旬のものは身体を作る!アレルギー食にも対応!

★こどものつぶやきは、どんな辞書よりおもしろい!丁寧に寄り添います♡

★1号(幼稚園児)2号(保育園児)3号(baby)みーんな一緒に育ち大きくなるよ☆

3歳児・4歳児・5歳児(全て若干名)



幼保連携型認定こども園 さくらこども園 **Tel 42-6977**

健康で明るくたくましい子ども・仲よく遊べる子ども・ものを考え創りだす子ども・心の豊かな子ども

◆保育と年間行事の中で、食育、伝統文化を取り入れるようにしています。

◆少人数のこども園の良さをいかし、手の行き届いた家庭的な保育を行います。

◆新しい園舎で安心安全な教育・保育を行っています。

◆三陸道 IC に近いので釜石・山田方面に就職されている保護者は大変便利です。

3歳児・4歳児・5歳児(全て若干名)



幼保連携型認定こども園 つつみこども園 **Tel 27-5700**

園舎は子どもの目線の窓やのぞき窓がたくさんあり、さまざまな発見ができたり、異年齢との関わりが常に持てるように工夫されています。また、2歳児以上のクラスのお部屋にはドアがなく、子どもたちが好きな空間で過ごせるようになっています。

●墨ちゃんクラブ(書道)、わくわくうんどうクラブ(体育教室)、郷土芸能吉里吉里鹿子踊りに取り組んでいます。

●食室とランチステージが隣接し、給食を作る様子、香り、彩りを感じながら過ごすことができます。

●病後児保育事業 ～体調不良型～ 看護師が常勤し安心かつ安全な体制を確保しています。

3歳児・4歳児(ともに若干名)



認定こども園 みどり幼稚園 **Tel 42-3026**

■子どもそれぞれが持つ多様な個性と個々に異なる発達段階を踏まえ、安心、安全を前提とした保育を実施します。

■教育・保育活動の展開を通して、学び、生活、精神の自立心を育てます。

■アレルギー対応や栄養管理の行き届いた自園調理の給食があります。3歳以上は送迎バスがあります。

■外部講師による体操教室や、東京首都圏で活躍の専門講師による音楽教室、創作和太鼓に取り組んでいます。

■幼稚園母体の教育研究を通した、幼児教育の実践を図っています。

3歳児(11名)4歳児・5歳児(ともに若干名)



おさなご幼稚園 **Tel 42-3032**

今だからこそ、広い教室で少人数保育。目と手の行き届いた質の高い保育を目指しています。

園の子の特徴

❖週1回のアロピの専門講師の指導で、踊るのが大好きな子になります。

❖絵本の読み聞かせで、絵本が大好き。落ち着いて人の話が聞ける子になります。

❖毎日ピアノ伴奏で歌うことで、歌が大好き。歌の上手な子になります。

❖おいしい給食で、好き嫌いの少ない子になります。

満3歳児(若干名)3歳児(8名)4歳児(4名)5歳児(4名)



令和5年度4月の保育園・認定こども園(保育部分)・小規模保育などの入園申込みが始まります

〈町内の保育園、認定こども園、幼稚園、小規模保育所〉

施設区分	施設名		対象年齢	定員	所在地(連絡先)	開所時間	延長保育・預かり保育	備 考
認可保育所	吉里吉里保育園		3か月～就学前	60名	吉里々々第21地割字越郷60-8(Tel 44-2535)	月～土 7:00～18:00 日曜・祝日休み	平日 18:00～19:00	・給食あり(土曜含む)
認定こども園	幼保連携型認定こども園 おおつちこども園	保育部分	産休明け～就学前	80名	小鎚第26地割161-5(Tel 42-2136)	月～土 7:00～18:00 日曜・祝日休み	平日・土曜 18:00～19:00	・一時預かり(未就園児)・給食あり(土曜含む)・幼稚園部分についても長期休暇なし
		幼稚園部分	3歳以上～就学前	9名		月～金 9:00～15:30 土日・祝日休み	平日 7:00～9:00、15:30～18:00 土曜保育 7:00～18:00	
	幼保連携型認定こども園 さくらこども園	保育部分	3か月～就学前	30名	大槌第14地割141-1(Tel 42-6977)	月～土 7:00～18:00 日曜・祝日休み	平日・土曜日 18:00～19:00	・給食あり(土曜含む)・幼稚園部分についても長期休暇なし
		幼稚園部分	3歳以上～就学前	10名		平日 9:00～15:30 日曜・祝日休み	平日 7:00～9:00、15:30～19:00 土曜保育 7:00～19:00	
	幼保連携型認定こども園 つつみこども園	保育部分	産休明け～就学前	52名	吉里吉里二丁目2-3(Tel 27-5700)	月～土 7:15～18:15 日曜・祝日休み	平日・土曜 18:15～19:00	・給食あり(土曜含む)・看護師常勤・病児保育(体調不良児対応型)・幼稚園部分についても長期休暇なし
		幼稚園部分	3歳以上～就学前	10名		平日 8:30～14:30 土日・祝日休み	平日 7:15～8:30、14:30～ 土曜保育 8:30～16:30	
	幼保連携型認定こども園 みどり幼稚園	保育部分	6か月～就学前	40名	大槌第15地割95-264(Tel 42-3026)	月～土 7:00～18:00 日曜・祝日休み	平日 18:00～19:00	・給食あり・長期休暇中の預かり保育あり(幼稚園部分)・3歳以上は送迎バスあり(有償)
		幼稚園部分	3歳以上～就学前	25名		平日 8:00～14:00 土日・祝日休み	平日 7:00～8:00、14:00～18:00 土曜保育 7:00～18:00	
幼稚園	おさなご幼稚園		満3歳以上～就学前	24名	桜木町2-24(Tel 42-3032)	平日 9:00～14:00 土日・祝日休み	平日 7:30～9:00、14:00～18:00 土曜保育 7:30～12:00	・給食あり・長期休暇中の預かり保育あり・送迎バスあり(有償)
小規模保育	小規模保育事業所 おさなご園		6か月～満3歳未満	15名	桜木町3-17(Tel 42-3032)	平日 7:00～18:00 土曜 7:30～17:00 日曜・祝日休み	平日 18:00～19:00	・給食あり

受付期間および受付場所 次の日程で受け付けますので、家庭の状況に詳しい人がお越しください。

【受付期間】12月1日(木)～12月16日(金) 8:30～17:15(平日のみ)
12月10日(土) 9:00～17:00

【受付場所】役場健康福祉課

保育園等へ入園できる基準(幼稚園、幼稚園部分以外)

大槌町に住民登録がある児童で、次のいずれかの理由により保育の必要性が認められる場合に限ります。

- ①月48時間以上の就労(フルタイムのほか、パートタイム、夜間、居宅内労働など) ②妊娠、出産
③保護者の疾病・障害 ④同居または長期入院などしている親族の介護・看護 ⑤災害復旧 ⑥求職活動 ⑦就学
⑧その他、保育が必要な状態であると町長が認める場合(育休中の人は状況を確認して保育の必要性を判断します)

申込方法 ①申請書などを役場窓口で受け取るか、町ホームページからダウンロードしてください。
②申請書に必要事項を記入し、必要書類を添付して受付期間内に役場窓口に提出してください。

延長保育について

各園で決められた保育標準時間・保育短時間を超えて延長保育を利用する場合は、一定の利用料が必要です。

一時保育について(令和4年度はおおつちこども園で実施しています)

保護者の通院など、緊急に保育が必要になった場合に対応します。

病児保育(体調不良児対応型)について(令和4年度はつつみこども園で実施しています)

園児が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合、保護者様が迎えに来る間、看護師が園児の保育をします。



イベント

第73回全国植樹祭が 岩手県で開催されます！

森林・緑に対する国民の理解を深めるために、毎年春季に開催している国土緑化運動の「全国植樹祭」が、令和5年6月4日（日）、陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園で開催されます。岩手県での開催は49年ぶり2回目です。

【全国植樹祭の内容】

■式典行事

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、各種表彰、大会宣言、アトラクション等

■植樹行事

招待者等による記念植樹

第73回全国植樹祭の情報や取組については、公式ホームページやTwitterで随時発信中ですのでご覧ください。



公式 HP



Twitter

木製地球儀リレーが 巡回中！

第73回全国植樹祭いわて2023の周知と機運醸成のため、全国植樹祭のシンボル『木製地球儀』が県内全市町村を巡回しています。

7月9日（土）に開催された「第73回全国植樹祭1年前記念イベント」の

式典で出発式を行い、7月11日（月）に八幡平市からスタート。ゴールの陸前高田市を目指して令和5年2月24日（金）まで各市町村でセレモニーと展示を行います。大槌町では下記のとおり展示されます。

■期間 11月24日（木）～11月28日（月）

■場所 おしゃっち 1階

☎ 産業振興課 Tel 0193-42-8717

令和5年大槌町成人式 ～二十歳のつどい～

町は、新型コロナウイルス感染予防対策をとったうえで成人式を開催します。

成年年齢が18歳に引き下げられましたが、町はこれまでどおり、成人式の対象を当該年度に20歳になる人とし、名称を「大槌町成人式～二十歳のつどい～」に変更して開催します。

また、会場に来られない新成人やご家族のために、式典の様子を当日にインターネットで配信する予定です。成人式の最新情報を広報および町ホームページやFacebookなどへ随時掲載しますのでご確認ください。

■日時 令和5年1月8日（日）

13：00（1時間程度）

■場所 大槌町城山公園体育館アリーナ

■対象 平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人で、町内に住んでいる人および町出身者で式典に出席を希望する人

■申込方法

(1)大槌町内に住所を有している人（11月1日時点）

11月21日（月）までに往復はがきで成人式案内を郵送します。出席の有無を記入し、12月13日（火）までに返送してください。

(2)町外に住所を有する大槌町出身者で、大槌町成人式に出席を希望する人
12月13日（火）までに電話でお申し込みください。

■注意事項 感染状況によっては開催直前であっても、参加者の制限、開催方法の変更、式典の中止も想定されます。

☎ 生涯学習課 Tel 0193-42-2300

『ふるさと大槌学講座』を 開催します！

『ふるさと大槌学講座』郷土財をいかに活用するか～まちづくり振興のため～※大槌町郷土財活用湧水エリアをテーマにした講座です。

■日時 11月12日（土）13：00～15：00

■会場 大槌町文化交流センター（おしゃっち）1階 多目的ホール

■受講料 無料

■参加申込み 11月11日（金）17：15までに、電話かFAXでお申込みください。なお、当日参加の方も受け付けます。

■講師 森 誠一 氏（岐阜協立大学・地域創生研究所・教授）

☎ 生涯学習課 Tel 0193-42-2300

Fax 0193-42-2400

オミクロン株対応ワクチン（BA4/5）の接種について

10月号の広報にてお知らせした、オミクロン株対応ワクチンの接種について、11月7日以降より、ファイザー社ワクチンのみBA.4/5対応ワクチンに切り替えます。モデルナ社ワクチンについては、今後国の薬事承認後に切り替える予定です。

現時点の知見を踏まえた専門家による検討では、オミクロン株対応ワクチンは、オミクロン株の種類（BA.1とBA.4/5）に関わらず、オミクロン株成分を含むことで、従来型ワクチンを上回る効果があること、オミクロン株と従来株の2種類の成分が含まれることで、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待されています。そのため、その時点でオミクロン株成分を含む接種可能なワクチンの接種を受けることが望ましいとされています。

接種間隔の短縮について

新型コロナワクチンの追加接種について、前回接種日からの間隔が、5ヵ月から3ヶ月に短縮されました。つきましては令和4年8月までにワクチン接種した方について、接種券を11月上旬に順次送付いたします。接種券が届いてから、①予約サイトでの予約、または②コールセンターへの電話での予約、のいずれかでご予約ください。

生後6か月以上4歳以下のワクチン接種について

生後6か月以上4歳以下の新型コロナワクチン接種について、令和4年11月19日から接種を開始します。

これまでのワクチン接種と異なり、生後6か月以上4歳以下の初回接種は、3回の接種が必要です。1回目接種の3週間後に2回目を、2回目接種の8週間後に3回目を接種します。接種量は、毎回0.2ミリリットルです。

【使用するワクチン】 ファイザー社ワクチン（生後6か月以上4歳以下用）

【接種券の発送】 11月上旬に順次接種券を発送します。

【予約方法】 接種券が届いてから、コールセンターへの電話にてご予約ください。

「上水道未使用世帯など」へ 支援金を給付しています

新型コロナウイルス感染症などを原因とする物価高騰に対する支援を目的として、支援金（給水用途単価の6か月相当額）を給付しています。

【対象者】 基準日（令和4年10月1日）において、町内に住所を有し、住所地での生活もしくは事業の実態があり、町の上水道以外の施設などのみを利用している世帯の世帯主および事業者。
※令和4年10月1日時点で大槌町の住民基本台帳に登録があり、申請時にも引き続き登録がある世帯主および事業者
※同一住所地で複数の世帯がある場合には、いずれかの世帯主の代表者

【申請受付期間】 10月1日～12月28日（土、日、祝日を除く8：30～17：15）

【給付額】 ・一般家庭 1世帯8,400円 ・事業者 1事業所18,600円

【申請受付場所】 大槌町役場 2階 企画財政課

【申請方法】 申請書に添付書類を添えて申請場所へ提出する。 ※申請書は、受付場所に設置予定

【添付書類】 ①本人確認書類 ②振込先口座の確認書類
③個人事業者および事業者の事業実態確認書類（2021年分の確定申告書第一表の控えおよび電気の使用が確認できる資料の写し）

【その他】 給付金を装った詐欺にご注意ください。

詳しくは、企画財政課までお問い合わせください。

☎ 企画財政課 Tel 0193-42-8712

宝くじの助成事業で コミュニティ活動備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、収益金を地域に還元し、集会施設やコミュニティ活動に必要な備品に対して助成を行っています。これは地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としているものです。今年度、臼沢自治会では助成金を活用して鹿子踊の衣装を整備しました。今後も地域コミュニティ活動のさらなる活性化が期待されています。

☎ 協働地域づくり推進課 Tel 0193-42-8718



免許返納したら、セニアカー 試乗できます！



末広町 12-14 内金崎自転車商会 42-2062

11月の手芸教室のご案内

【21日（月）】 10時～12時 おばちゃんくらぶ
【28日（月）】 10時～12時 おしゃっち 第3会議室
【21日（月）】 13時30分～15時30分 大ヶ口集会所

ちりめん教室 【14日（月）】 10時～12時 おしゃっち
【28日（月）】 10時～13時 第2会議室

《お問合せ》おおつち おばちゃんくらぶ 川原畑：090-7074-0174
あなたの絵が生地になる！募集中 中日新聞社会事業団 東日本復興支援事業活用

あなたの美しさは街の輝きになる



（街）シャイン美容室 La・La 大ヶ口2丁目3-39
TEL 0193-42-2784 営業時間 9：00～18：00
定休日 月・第3日曜日 予約優先

ヴィラロドラ オーガニックカラー

92%天然由来のヘアーカラーで髪にやさしい色と艶
オーガニックカラーをした方に

シャンプー（10ml） トリートメント（10ml） オーガニック

・マープヘットスパもおすすめです ※新型コロナウイルス対策実施店（オゾン発生器を使用しております）

お知らせ

東日本大震災で被災した住宅の再建に係る補助金

東日本大震災で全壊（半壊解体を含む）した住宅を町内で再建（新築または購入）した被災世帯主、またはその世帯員が世帯分離し、別途住宅を町内で再建（新築または購入）した場合は補助金が支給されるケースがあります。下記に問い合わせください。

■対象要件

- ①新築または購入にかかる加算支援金を受給済みかつ建物を登記済みで補助金申請をしていない人
- ②新築または購入にかかる加算支援金および被災者住宅再建補助金を受給済みの被災世帯から世帯分離し住宅再建をした世帯員

■その他要件

- ・災害公営住宅に入居していないこと
- ・その他、各補助金交付要綱の記載要件に該当する人

問 健康福祉課 Tel 0193-42-8715

原油価格・物価高騰対策補助金

町は、物価高騰による費用増加に直面している事業者に対し、県が実施した物価高騰対策支援金（原材料等支援金）に上乗せして補助金を助成します。対象者は県の交付決定を受けた事業者

です。なお、県支援金の申込み期限は令和4年11月30日までです。詳細は大槌商工会にお問合せください。

問 大槌商工会 Tel 0193-42-2536

大槌町子育て世帯臨時特別支援金（追加給付）

コロナ禍による原油価格・物価高騰対策として、子育て世帯に対し臨時特別支援金（追加給付）を支給します。

■支給対象者

- ①令和4年9月分児童手当受給者
- ②新生児（令和4年9月～令和5年2月生まれ）を養育する世帯
- ③高校生および20歳以下の障がい児を養育する世帯

■支援金額 児童一人あたり15,000円

■申請など 支給対象者には、11月中旬までに「支給のお知らせ」および申請書を送付します。

問 健康福祉課 Tel 0193-42-8715

募集

大槌町職員再募集

■職種【一般】

- ①一般事務職
- ②保健師
- ③土木技師
- ④幼児ことばの教室指導員

■職種【社会人経験者】

- ①保健師
- ②介護支援専門員

■受験申込書の交付場所

大槌町役場2階 総務課 職員情報班
※町ホームページからダウンロードできます
※郵送交付希望者は問い合わせください

■受験申込書の受付締切

11月25日（金）
受付時間 8:30～17:15

※土日祝日を除く

※郵送は11月25日必着

■受験資格など

詳しくはホームページをご覧ください



一般追加試験



社会人追加試験

問 総務課 Tel 0193-42-8710

相談・説明会

里親制度パネル展と制度説明会

さまざまな事情により、家庭で生活できない子どもがいます。そのような子どもが安心した毎日を過ごせるように、家に迎え入れて養育する里親制度があります。

里親制度のことをもっとよく知っていただくため、パネル展および制度説明会を行います。少しでも関心のある人はご来場ください。児童相談所へ直接相談することもできます。

〈パネル展〉

■期間 11月11日（金）～21日（月）
■場所 おしゃっち
〈里親制度説明会〉
■日時 令和5年1月27日（金）13:30
■場所 釜石市青葉ビル
問 岩手県宮古児童相談所
Tel 0193-62-4059

行政相談

行政（国、県、市町村）、独立行政法人、特殊法人（郵便局、NTTなど）での困りごとについて行政相談を開催し、その解決を図ります。ご遠慮なくご利用ください。

■日時 11月18日（金）9:30～11:30

■場所 役場1階 相談室1

問 総務課 Tel 0193-42-8710

弁護士巡回相談

経済的に余裕のない人を対象とした無料法律相談です。※相談は電話予約制

■日時 12月7日（水）13:00～15:30

■場所 役場3階 会議室

■予約 相談日の前日15:00まで

問 法テラス気仙 Tel 0570-078385（9:00～17:00）

司法書士無料法律相談

（1）司法書士無料法律相談

■日時 11月11日・25日（金）10:00～13:00

■場所 おしゃっち 会議室5

■予約先 岩手県司法書士会
Tel 019-623-3355（9:00～17:00）

（2）岩手県司法書士会電話無料相談
火曜日、木曜日 10:00～13:00

Tel 0120-823-815（通話料無料）

健康

元気活きいき運動教室

町では、活きいき貯筋クラブに委託して、楽しみながら体力の維持・向上を図る“元気活きいき運動教室”を開催しています。

■会場 城山公園体育館（体育館・トレーニング室）

■日時 毎月第2・4木曜日（日程が変更になる場合もあります）
13:00～15:00（申し込み不要、直接会場へ）

■内容 ファミリーバドミントン・卓球など

■持ち物 上履き、水分、タオル、運動しやすい服装

■費用 無料

■11月開催予定 11月10日、24日
※新型コロナ感染拡大などにより中止する場合は施設掲示などでお知らせします。

問 健康福祉課 Tel 0193-42-8716

健康相談

町は、健康相談を実施しています。

日時・場所	内容
11月18日（金） 9:30～11:00 マストセンターコート	血圧・体組成測定 健康相談 【申込不要】
11月21日（月） 9:30～10:30 岩手県立大槌病院	高齢者に関する 介護・生活相談 【申込不要】

※新型コロナ感染拡大などにより中止する場合は施設掲示などでお知らせします。

問 健康福祉課 Tel 0193-42-8716

釜石保健所各種無料相談および検査

項目	実施日
◆エイズ相談・検査 ◆性感染症検査（性器クラミジア検査・梅毒検査） ◆肝炎ウイルス検査（B型・C型） ◆HTLV-1相談・抗体検査	11月17日（木） 11:00～12:00（予約制） ※毎月第3木曜日
骨髄バンク登録	11月17日（木） 14:30～15:00（予約制） ※毎月第3木曜日
こころの健康相談	11月9日（水） 15:00～17:00（予約制） ※今月のみ第2木曜日

問 釜石保健所保健課
Tel 0193-25-2710

くらしの情報

リチウムイオン電池など発火危険物混入防止のお願い

リチウムイオン電池などの充電式バッテリーは、捨て方を間違えると発熱・発火するおそれがあり、危険です。ごみ収集車やごみ処理施設での発火事故が全国的に発生しています。

絶対に燃えるごみや資源ごみの袋に入れないで、燃えないゴミの日に出してください。

電子タバコ、充電式シェーバー、スマートフォン、タブレットなどに使用される充電式の電池には、以下のマークが表示されております。



問 リサイクルセンター
Tel 0193-42-7570

無料相談

相談 遺産 死後事務委任 遺言 届出 葬儀

ご相談される方は、予め、お電話で予約受け付け願います。

年中無休 トータルサポート対応
慈愛サポートセンター合同会社
事務所 吉祥寺内〔吉祥寺と連携〕
Tel 0193-43-1020 Fax 0193-44-2331

赤武不動産（柵内）

売地・売家・借家 **物件募集**

営業時間 7:30～19:30

赤武石油ガス(株)不動産

〒028-1131 上閉伊郡大槌町大槌 12-125
TEL:0193-42-3167 FAX:0193-42-2310

半歩先行くお気遣い 気持ちが楽になるお葬式

大槌家族葬ホール 1組貸切式場

思い出に「ありがとう」の気持ちを添えて。

貸切会場はまるで自宅にいるようなあたたかさ

- 貸切だから気兼ねなくお過ごしいただけます
- 現代の葬儀事情に丁度いい大きさのホールです
- 地元出身の担当者が対応させていただきます

【見学会】いつでも見学できます。御来館の皆様には粗品を進呈！

事前相談を行った方は葬儀ご利用時に割引いたします。

事前のご相談・資料請求・ご依頼は
ハウスセレモニー株式会社
末広町11-7 ☎27-9904

あるご 肉線 だいまる

フォーシーズン 肉線 だいまる

炭火焼肉だいまる 肉線 だいまる

おかげ様で限定枚数、発行完了！

にこここ券 お食事専用 タクシー専用

¥500 使用期限 もうすぐです

令和4年11月30日まで有効

大槌町小槌シーサイドタウンマスト1F 0193-42-8111(代)

炭火焼肉だいまる 牛カルビ 3割引

フォーシーズン 配布中 ¥50

※店内商品全てに使えます。1商品につき1枚、何枚でも使えます。

おめでたおくやみ
(祝辞略)
9月16日～10月15日

出生

東 谷 世 達(陽世・吉里吉里三)
小 松 千 蘭(南・大ケロー)
佐々木 杏(直矢・桜木町)
山 崎 壮 也(克也・源 水)
船 生 琉 心(将也・大ケロー)

婚姻

{ 三 浦 信 夫(梶 内)
レオナア ベシー ポリカーピ
{ 小 林 大 心(安 渡 三)
藤 原 晴 奈

※大槌町役場に届出を提出した方で、広報掲載を希望した方のみ掲載しております。

死亡

道 又 英 樹(55・源 水) 9/16
関 谷 正 勝(72・吉里吉里四) 9/17
山 崎 宏 子(81・大ケローニ) 9/27
澤 山 キ ク(100・大ケロー) 10/1
神 田 和 子(66・赤 浜 二) 10/4
佐々木 與 市(94・桜木町) 10/3
芳 賀 廣 喜(74・末 広 町) 10/6
菊 池 忠 平(89・沢 山) 10/7
柳 田 清 悦(83・花 輪 田) 10/8
外 館 チヨミ(95・吉里吉里四) 10/9
小笠原 ス ワ(93・種 戸) 10/9
佐々木 千恵子(81・末 広 町) 10/12
上 田 エ ミ(85・和 野) 10/15
田 中 ミ ヤ(84・吉里吉里二) 10/14

最終処分場放流水の水質について

10月12日に採水した、一般廃棄物最終処分場放流水の水質分析結果と放射性物質濃度測定結果について、基準値を超える項目はありませんでした。
☎ リサイクルセンター ☎ 0193-42-7570

お知らせ

国民年金保険料のクレジットカードによる納付

国民年金保険料は、納付書による納付や口座振替の他に、クレジットカードによる納付ができます。

税 目	期	納 期 限	口座振替日
固定資産税	4 期	11月30日 (水)	11月25日 (金)
国民健康保険税	5 期		
介護保険料・後期高齢者医療保険料			

☎ 税務会計課 ☎ 0193-42-8711

町税などの納期のお知らせ

今月、納期となっている町税などは、次のとおりです。納め忘れのないようお願いします。また、納税は、便利な口座振替を推奨しています。

3.11 あの日から未来へ



くらもと けん こ
倉本 謙吾 さん

昭和20年9月1日～
平成23年3月11日
(享年65歳)
大槌町吉里吉里2丁目

人生のあゆみ

吉里吉里に6人きょうだいの長男として生まれました。吉里吉里小学校・中学校に進み、その後は家計を助けるため大工をしていた叔父のところに弟子入りし、のちに「倉謙建設」として独立しました。昭和46年に光子さんと結婚、3人の子どもをもうけました。近年は、建てた家のメンテナンスをするなど、一生懸命働きました。

震災時の状況

当日は自宅に妻の光子さんといました。地震直後、長女の裕子さん、次女の瞳さんらがそれぞれ電話した際には、謙吾さんは「自宅に2人でのいる」と話しています。その後は、家の前で向かいの家の人と話している姿が目撃されています。その後のことは詳しく分かっていません。3月13日に妻の光子さんのご遺体が見つかり、3月24日には謙吾さんのご遺体が見つかりました。

ご遺族より

「かせぎっと」だった大工の棟梁

大工の棟梁(とうりょう)として盛んな時は、弟子も持って仕事をしていました。小さいころ、よく作業場へ行き、木を刻んだり、カンナをかけている姿を見ていた記憶があります。父が建てている家の建前(上棟式)に行き、お餅をひろうことを楽しみにしていたものです。夜が明けると釣りや畑仕事をし仕事に行き、季節によっては昼休

みに、マツタケ採りに山へ……。とにかく「かせぎっと」でしたね。ウニやアワビ、海藻も採り、カレイやヒラメなど釣っては近所に配ったり、私たちに送ってくれました。魚釣りと山菜採り、花など趣味が多岐でした。

私たちには厳しい親だったと思います。あまりほめたりしなかったですね。表現が上手ではなかったから、誤解を招くこともあったと思います。

母がよく「口は悪いけど、根は優しい人だ」と話していたように、細かいことに心配りができる心あったかい父でした。

前日に神棚の夢、火葬のあとに両親の夢

きょうだい3人で父を探しに行く準備をしていた前日に夢をみました。震災前に完成していた、父が作った実家の神棚をみつけた夢でした。その話をしているところに父がみつかったと連絡があり「私たちが行くのを待っていたんだね……」とみんなで話したものです。父の火葬が済んだ後で、母と2人分のお骨を祭壇に並べて置いた時のこと、主人がその和室で寝ていたら、両親がそろって新しい家にいる夢を見たそうです。「2人は天国で会えたんだね」と皆で話しました。

伝えたいこと

お父さんへ

これからも、きょうだい、家族で助け合って、頑張っていくから心配せずに、近くで見守っていてね。

川嶋裕子さん(長女)

父には「頑張るよ」と言いたいので。すごく心配をかけていると思うので。「心配しないでね」と思うけれど、ついつい「なんでいないのよ」って思ってしまう。

服部 瞳さん(二女)

(平成26年12月)

☎ 協働地域づくり推進課 ☎ 0193-42-8718



倉本謙吾さん夫婦とお孫さん

毎月払いまたは前納(まとめて前払い)を選ぶことができ、利用には手続きが必要。本人のクレジットカードではなく、家族などのカードも利用できます。

クレジットカードによっては、国民年金保険料を納付した金額が、ポイントとして加算されるカードもあり(※1参照)、ポイントによるサービス分を含めると、最もお得な納付方法になる場合もあります。各社におけるポイントサービスの充実もあり、年々、クレジットカードによる納付をご利用される方が増加しています。

手続方法などについては、下記にお問い合わせください。

※1：お手持ちのカードにポイントが加算されるかなど、詳細は各カード会社にお問い合わせください。

☎ 宮古年金事務所 ☎ 0193-62-1963

11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動

11月12日～25日は女性に対する

暴力をなくす運動(パープルリボンキャンペーン) 期間です。パープルリボンは女性に対する暴力根絶の象徴です。

下記問い合わせ先では女性に対する暴力に関する相談を受け付けます。DVをはじめとした女性への暴力について被害に遭われたときなど、悩まずご連絡ください。プライバシーに配慮し、秘密は厳守しますのでご安心ください。

☎ DV相談ナビ ☎ 8008(はれれば)

☎ 沿岸広域振興局保健福祉環境部

☎ 0193-25-2713

(月～金 8:30～17:15)

☎ 大槌町役場 ☎ 0193-42-2111

11月は児童虐待防止推進月間

11月は児童虐待防止推進(オレンジリボンキャンペーン) 月間です。オレンジリボンは児童虐待防止の象徴です。

子どもへの虐待は心と体を深く傷つける許されない行為です。虐待を受けている子どもを見つけたときや、虐待をしたかもしれないと不安に感じていると

きは、下記までご連絡ください。

子どもへの虐待を許さない意識を持ち、地域全体で防いでいきましょう。

☎ 大槌町役場 ☎ 0193-42-2111

☎ 児童相談所虐待対応ダイヤル

☎ 189(いちばやく)

☎ 宮古児童相談所 ☎ 0193-62-4059

11月30日(いいみらい)は「年金の日」です

ご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について、考えてみませんか。「ねんきんネット」をご利用いただくと、パソコンやスマートフォンから、いつでもご自身の年金記録を確認できるほか、将来受給できる年金見込額の試算をすることもできます。

利用方法は、日本年金機構のホームページをご覧ください。

○日本年金機構のホームページ(ねんきんネット)

☎ 宮古年金事務所

☎ 0193-62-1963



休日当番医のお知らせ[釜石医師会]

日 程	当 番 医 / 所在地・電話番号
11 / 13 (日)	おしゃち外科クリニック(外・整外・リハ・皮膚科・内分泌内科) 大槌町大町 6-5 ☎ 0193-27-5656
11 / 20 (日)	釜石しょうけいクリニック(内・消) 釜石市甲子町 10-268-1 ☎ 0193-27-8571
11 / 23 (水)	堀耳鼻咽喉科眼科医院(耳鼻咽・眼) 釜石市只越町 2-5-24 ☎ 0193-22-1005
11 / 27 (日)	道又内科小児科医院(内・呼内) 大槌町大槌 15-95-255 ☎ 0193-42-2500
12 / 4 (日)	小泉医院(外・内) 釜石市中妻町 3-6-6 ☎ 0193-23-5157

休日当番医は、専門的な治療ではなく応急処置が原則です。不要不急の休日の受診は避けましょう。適切な休日当番医の利用をお願いします。
※入院が必要な場合は、県立釜石病院またはせいてつ記念病院が対応します。

☎ 健康福祉課 ☎ 0193-42-8716

休日当番歯科医のお知らせ[釜石歯科医師会]

日 程	歯 科 医 院 / 所在地・電話番号
11 / 13 (日)	工藤歯科クリニック 釜石市大町 3-1-35 ☎ 0193-22-6480
11 / 20 (日)	おおつじょうない歯科医院 大槌町大ケロ 2-100-10 ☎ 0193-42-8418
11 / 27 (日)	おいかわ歯科医院 釜石市港町 2-2-1-1 イオンタウン釜石3階 ☎ 0193-22-5800
12 / 4 (日)	遠島歯科医院 釜石市中妻町 3-6-28 ☎ 0193-23-5478

■診療日 毎週日曜日 ■診療時間 9:00～12:00

県立大槌病院外来のお知らせ 時間外・土日・祝日は完全休診です

内 科 月曜日～金曜日【午前】

整形外科 月曜日

皮膚科 28日【午前】

外 科 月曜日～金曜日【午前】

14日【午前】／7日・21日・28日【午後】

眼 科 月曜日・木曜日【午後】

一般葬から家族葬・社葬等ご要望に応じて承ります。

新町家族葬会館 新町通夜会館

博英典礼

仏壇・仏具・慶弔花環・葬儀一式・霊柩運送

当会館での葬儀
費用の全額*を
各種クレジット
カードでお支払い
できます。
※お布施は除く

24時間
年中無休



〒028-1121 大槌町小鏡26-164-15(花輪田) TEL 0193-42-7617 FAX 42-3767

おらDoの協Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが
広がる中で生まれる「おもっせえ」おおつち～

協働による地域・まちづくりを実践し、
人と人との出会いやつながりを生み出
している「おもっせえ」人や活動を紹介
します。みんなやっぺし協働!

歴代の大槌高校生たちがつないだ10年の活動 復興研究会定点観測は「時代を超えた協働」

大槌高校復興研究会定点観測班が防災功労者内閣総理大臣
表彰を受賞し、9月16日(金)、町長へ報告しました。東日
本大震災後、2013年から継続して、復興する町の姿を写
真などで記録してきた活動が高く評価されました。

生徒たちは「地域の人などたくさんの人たちの協力のおか
げでこの活動ができています。先輩たちの代からずっと続けて
きたことがすごい事だと思うし、昔を知って、これからを考
えるために意味のある活動だと思って参加している」と活動
への意欲を語ります。顧問の木村有里先生は、生徒、教員、
地域住民、役場や大学、復興工事の事業者など、多くの人と
の関わりで成り立っていると話し、この活動を「カメラのリ
レー」と表現しました。

10年にわたる定点観測は、1年ごとの成果をただ並べてい
るだけではありません。それぞれの代の生徒たちは、次の代
へつなげる意識、前の代から引き継ぐ意識をしっかりと持ち、
最初から現在まで全てが合わさって一つの活動だと理解して
継続してきました。こうしてつながった「カメラのリレー」は、
学校と地域、地域と事業者を結び付け、被災から立ち上がる
うとする町に活力を与える役割も担いました。現在では、復
興における町の変化を刻んだ貴重な資料にもなっています。

それぞれが自分のする事だけに目を向けず、それらを合わ
せて一つの事を成し遂げることは、協働のあり方そのもので
す。歴代の大槌高校生がつないできたリレーはまさに「時代
を超えた協働」と言えます。皆さんの地域や家庭の周りにも、
先人の思いを汲み、次代の幸せを願う、そんな「時代を超え
た協働」がたくさんあるのではないのでしょうか。



高校生と協働で取り組むことがまちづくりの糧に



大槌町上下水道課

木下 亮 さん
きのした りょう

大槌高校卒業生で、復興工事
担当職員として活動に参加

活動では、復興工事の関係でサポートしたり、震災
前の町の事を話したりしてきました。今回の受賞は、
年数が経って変わっていく街並みをメンバーが変わり
ながらも記録し続けてきた、そのつなぎ方、残し方が
評価されたと思います。高校OBとしても、震災前
には中々無かった、自分たちで町を見て考える時間を持
っている在校生は素晴らしいと感じています。これか
らでもできる限り一緒に活動を続け、自分の仕事、これ
からのまちづくりにも活かしていけたらと思います。

活動の詳細は16ページ
大槌高校だよりで紹介!

大槌高校復興研究会の
定点観測はこちらから

